

2019年(令和元年)6月1日(土)

## 三島・腰切不動尊で大祭

### 元気に子どもしやぎり

三島市南本町の住宅街にある「腰切不動尊」でこのほど、大祭が開かれた。同市のNPO法人グラウンドワーク三島が、20年前に協賛団体と共に復活させた祭り。法要や元気の良い子どもしやぎりなどにぎわった。

龍沢寺の僧侶による読経に続き、地元「田町区砂切保存会」（遠藤登会長）の子どもらが不動尊前でしやぎりを披露。夏本番を思わせる強い日差しの下で「昇殿」「屋台」など4曲を奉納した。グローバル文化交流協会による紙芝居もあり、川の清掃活動も行った。腰切不動尊は、16



腰切不動尊の大祭でにぎやかにシャギリ演奏を奉納する子どもたち＝三島市南本町

33（寛永10）年に御殿川の水車場の川底から見つかった上半身のみの石仏を祭ったのが始まりと伝わり、安産や「下の病」にご利

益があるとされる。古井戸の再生やほころの屋根の改修を行い、1999年から住民と共に毎年大祭を開く同NPOは「今年は新たに鈴と紅白の綱を新調した。これからもできることを精いっぱい続けていきたい」と話す。